

**令和3年度第3回
奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会会議録**

開催日時	令和4年2月25日（金）午後2時00分から4時00分まで		
開催場所	オンライン開催 ※傍聴：奈良市役所 北棟6F 601会議室		
出席者	委員	磯野奈緒委員、伊藤俊子委員、作間泉委員、辻中佳奈子委員、 中川幾郎委員、濱田真人委員、矢本亜矢委員 【計7人出席】	
	事務局	中川市民部次長、高岡地域づくり推進課課長補佐、岡田地域づくり 推進課課長補佐、山中地域づくり推進課地域自治推進係係長、地域 づくり推進課協働推進係田中	
開催形態	公開（傍聴人2人）	担当課	市民部 地域づくり推進課
議題 又は 案件	1 開会 2 案件 （1）第2次市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画に関する取組等について 1. 前回意見各課回答報告 2. 実施計画最終決定報告 （2）パブリックコメントの結果及び第3次市民参画及び協働によるまちづくり推進計画の策定について （3）市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画のシート変更について 3 閉会		
決定又は取り纏め事項	第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画について、今回の審議会で出た意見を元に修正した上で、策定する。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 開会 ○事務局より資料の確認。 2 案件 （1）第2次市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画に関する取組等について ○事務局より、第2回審議会が出た意見に対する担当課の回答の報告を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1「第2回審議会意見各課回答」について、危機管理課においては、意見のあった3事業（NO.44「自主防災防犯活動」、NO.50「地域防犯活動事業」、NO.83「交通安全指導委員会」）について、協働相手からの意見を追記している。また、救急課において 			

は、意見のあった事業（NO. 4 6 「応急手当普及啓発活動事業」）について、救急課内で協議の結果協働事業から外している。

○事務局より、令和2年度事業評価、令和3年度実施計画について、最終確定の報告を行った

- ・ 資料2から資料9が該当の資料である。また、参考資料に担当課からの修正箇所をまとめている。

➤主な意見は以下の通り

- ・ 資料3. 令和2年度事業評価シート（協働事業）についてNO. 4 9 「奈良市自転車駐車場の運営」において毎年度、目標値と実績値が3, 3 6 0で固定されているのはなぜなのか、変動する値ではないのか。（作間委員）

→担当課に確認する。（事務局）

- ・ 同シート、NO. 4 7 「市民メディカルラリーの実施」について今後の方針を廃止としているが、なぜなのか。（作間委員）

→廃止に至った詳細な経緯については知らないが、奈良市女性防災クラブ連合会会長として事業に携わっているのでお伝えすると、協働相手が病院関係であり、現在の新型コロナウイルス蔓延の影響により事業の継続が困難であるため中止しているとの報告は受けている。（伊藤委員）

→廃止に至った理由について担当課に確認する。（事務局）

- ・ 同シート、NO. 8 0 「地域ミーティング」について、奈良市自治連合会が主催で行う事業である。令和2年、3年は開催されていない現状において、今後復活させていきたい。行政側においても今後の見直しについて考えていただきたい。（作間委員）

→奈良市自治連合会と協議し、開催できるよう努めていく。（事務局）

- ・ 資料1 「第2回審議会意見各課回答」について、救急課においては、NO. 4 6 「応急手当普及啓発活動事業」を協働事業から外すとしているが、応急手当の講習を受けた市民が病院前救護に貢献することから協働事業であるように思う。

→担当課に再度確認する。（事務局）

- ・ 資料3. 令和2年度事業評価シート（協働事業）のNO. 3 5 「認知症サポーター養成講座」について、社会福祉協議会としても携わっているが養成した後の活躍の場がないように感じる。今後、協働事業として行政がどのように関わっていくのか教えてほしい。（濱田委員）

→担当課に確認する。（事務局）

(2) パブリックコメントの結果及び第3次市民参画及び協働によるまちづくり推進計画の策定について

○事務局より、パブリックコメントの結果について報告を行った。

- ・ 今回の「第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）」に対するパブ

リックコメントは令和3年12月6日から令和4年1月7日まで意見を募集し、4人7件の意見を頂戴した。項目別の意見数としては、第1章「推進計画の策定について」に関するものが4件、第2章「計画策定の背景」に関するものが1件、その他項目に該当しないものについて2件である。対応の方向性としては、5件を計画案に反映し、2件を意見として伺った。

- 資料10。「第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）意見募集の結果及び市の考え方」について

まず、意見のNO. 1、NO. 2、NO. 3、NO. 5は協働推進が強調されるあまり、市民参画の重要性がおろそかにされかねないことに注意を喚起するという意図のもと、文章中に協働の記載はあるが、市民参画の記載が足りないところを指摘いただいている。意見をもとに資料11。「第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）」に反映しており、推進計画の修正箇所はNO. 1が1ページ8行目「課題解決のためには多様な主体との協働を進めることが必要だと考え」の部分に「参画及び」を追記。NO. 2が1ページ16行目「多様な主体と行政が」の部分に「多様な主体が市政に参画し、多様な主体と行政が…」に修正。NO. 3が、3ページ2行目「協働のまちづくり推進庁内検討委員会」が協働に関する…」の部分に「市民参画及び」を追記。NO. 5が、16ページ【施策の方向性】①市民が参画しやすい環境づくりの6行目「積極的にパブリックコメントや市民が参画しやすい環境づくりを進めます。」の部分に追記し「積極的にパブリックコメントやワークショップを実施するなど、テーマに応じた参画メニューの提示を通じ、市民が参画しやすい環境づくりを進めます。併せて、市民参加の担い手を養成する講座等を開催します。」に修正。

次に、NO. 4の意見について、地域自治協議会は既存の自治連合会の名称をかえただけという認識を持っているとのことだったので、地域自治協議会について理解いただけるよう、資料11。「第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）」7ページの通りイラスト等を用い地域自治協議会の仕組みについて説明した図を作成し追加。

次に、NO. 6、NO. 7の意見について、両意見とも本推進計画に対する意見ではないため、意見として伺っている。以上がパブリックコメントの結果についての説明である。

- 事務局より「第3次市民参画及び協働によるまちづくり推進計画」の策定についての説明を行った。

- 資料11。「第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）」について、推進計画の内容に関しての変更点は、パブリックコメントの意見を受けての変更点と、辻中副会長より5ページの「1. 人口減少と市民ニーズの多様化」下3行と6ページ「2. 地域コミュニティの状況と取組」冒頭4行が同じ記載であるとの意見をうけ赤字の通り修正した変更点となっている。
- 現在の推進計画で最終決定とし、体裁を整えた後、策定とする。また、その際には審議会会長である中川会長より答申をもらう。

➤主な意見は以下の通り

- ・ 資料 1 1. 第 3 次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）の 8 ページ、2 1 ページの図表が同じものであるがなぜなのか。また 2 1 ページの図表の下に※新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少との記載があるが 8 ページの図表には記載がないので同じ図を掲載するのであれば合わせたほうがよいのではないか。（辻中委員）
- 8 ページについてはセンターの取組として、2 1 ページについては前推進計画の取組として掲載している。記載の相違については修正する。（事務局）
- 同じ図表を使用するのであればどちらかに再掲と記載してはどうか。（中川委員）
- 検討する（事務局）
- ・ 資料 1 1. 第 3 次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画（案）の 2 4 ページ③地域における新たな協力・連携の仕組みの構築について、「…地域づくりコーディネーターを計 1 0 名配置し、行政窓口の一本化及び地域自治協議会の設立・運営への支援体制を構築した。」との記述があるが窓口の一本化を実現できていないように感じる。また、1 8 ページの記載では市全体として地域自治協議会を支援するようにとれるが、2 4 ページの記載では地域づくりコーディネーターだけの支援のようにとれるややこしさもあるため 2 4 ページの該当部分については削除してはどうか。（作間委員）
- 2 4 ページの内容については第 2 次推進計画の取組であり、1 8 ページについては第 3 次推進計画における計画であるため削除は難しいが、誤解を生む表現にならないよう修正する。（事務局）

(3) 市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画のシート変更について

○事務局より「(協働事業) 評価シート」、「補助助成一覧表」の変更について説明を行った。

- ・ 第 2 回審議会において事業評価シートの C 評価以下の事業については、評価結果の理由、改善点及び今後の方針を組み込むべきとの意見をうけ、資料 1 2 「(協働事業) 評価シート（案）」を作成した。C 評価以下の事業については担当課より評価の要因と改善策を記入してもらい、委員よりフィードバックをもらう形をとる。
- ・ 第 2 回審議会において補助・助成一覧表における透明性を高めるために事後評価を組み込んでどうかとの意見をうけ、資料 1 3 「補助助成一覧表（案）」を作成した。補助助成の効果の有無、その理由について記入する項目を追加している。
- ・ 令和 4 年度より前述のシートへの変更を検討しているが、改善点等あれば頂戴したい。

➤主な意見は以下の通り

- ・ 資料 1 2 「(協働事業) 評価シート（案）」について総合評価が C 評価以下の場合要因及び今後の改善策を求めているが、総合評価が B 評価以上であるが、評価項目の点数が最低点になっている事業もあるので、そういった事業も要因等の記入を求めているかどうか。（矢本委員）

→ 総合評価が C 評価以下の事業以外にも評価項目のどれかにおいて評価点が 1 もしくは 2 が入っている事業も要因等を聞くということでもよろしいか。また、記入者は評価点をつけた

ものが行うのか。(中川委員)

→意見の通りシートを変更する。要因等の記入については担当課に行ってもらおう。協働相手が評価点を1もしくは2を付けた場合は担当課より協働相手に確認をしてもらう。(事務局)

- ・ (協働事業) 評価シートは事業の成果を評価するシートなのか協働ができたかどうかだけを評価するシートなのか。事業をするにあたって受益者の声を反映する項目があれば事業の有益性や新たな課題の発見につながるのではないか。(磯野委員)

→今後項目の追加を検討する。現在受益者の声の反映として考えているのがアンケート調査を行っている事業に関しては集計結果をシートと共に添付してもらい評価の指標にしてもらうことを考えている。(事務局)

事務局より連絡

- ・ 議事録の署名は、中川会長と辻中副会長にお願いしたい。(事務局)

資料

資料1. 第2回審議会意見各課回答

資料2. 令和2年度第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画事業一覧表

資料3. 令和2年度事業評価シート(協働事業)

資料4. 令和2年度事業評価シート(市民参画事業)

資料5. 令和2年度 後援名義一覧表

資料6. 令和2年度 補助・助成一覧表

資料7. 令和3年度第2次市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画事業一覧表

資料8. 令和3年度実施計画シート(協働事業)

資料9. 令和3年度実施計画シート(市民参画事業)

資料10. 第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画(案)意見募集の結果及び市の考え方

資料11. 第3次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画(案)

資料12. (協働事業) 評価シート(案)

資料13. 補助助成一覧表(案)

参考資料. 第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画・実施計画修正箇所一覧